

# もろかんみなみ 横浜環状南線

設計・用地説明資料

神戸橋交差点付近～釜利谷JCT付近まで

平成21年6月

<お問合せ/横浜環状南線に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください>

東日本高速道路株式会社 関東支社  
横浜工事事務所 工務課  
〒241-0833 横浜市旭区南本宿町21-1  
TEL.045-352-3771(代表) <http://www.e-nexco.co.jp>

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 計画課  
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2  
TEL.045-316-3536  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

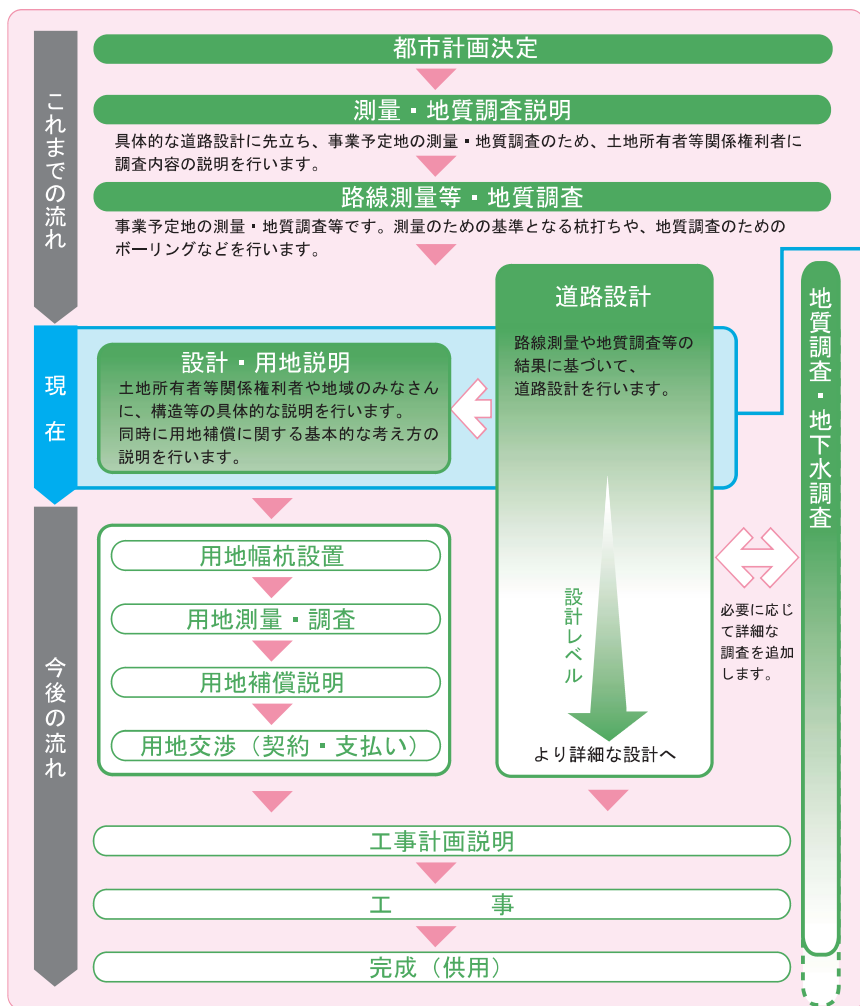
横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
TEL.045-671-2778  
<http://www.city.yokohama.jp/me/douro/hashira/minami.html>

# 目次

今回の設計・用地説明では	① ②	路線概要3	地形・地質	⑪ ⑫	
路線概要1	横浜環状南線とは	③ ④	今後の検討4	環境保全への取組み	⑬ ⑭
道路構造2-1	道路構造の計画	⑤ ⑥	今後の検討5	今後の進め方	⑮ ⑯
道路構造2-2	道路構造の計画	⑦ ⑧			
道路構造2-3	道路構造の計画	⑨ ⑩			

# 今回の設計・用地説明では

## 横浜環状南線ができるまでの流れ



※この流れは、一般的な手順を示したもので実際と異なる場合があります。

## 今回の設計・用地説明について

横浜環状南線（通称：横環南）の神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近については、測量および地質調査の結果などを基に道路設計を行ってきました。

今回の設計・用地説明は、設計がまとまった当該区間について、地元関係者（地権者など）の方々を対象として、

- ① 道路構造
- ② 用地補償などの考え方
- ③ 今後の進め方
- ④ 環境保全について

などをご説明するものです。

## 説明資料の範囲 神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近まで

横浜環状南線のうち神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近までが、今回の説明資料の範囲となります。



# 横浜環状南線とは



横浜環状南線は、首都圏中央連絡自動車道(通称:中央道)の一部を成し、首都圏の中核都市を連絡するとともに、横浜市交通ネットワークを形成する「横浜環状道路」の南側区間にあたる、延長約8.9kmの自動車専用道路です。

「圏央道」と「横浜環状道路」の一部として、交通ネットワークを形成します。

## ● 路線概要

路線名	一般国道468号
区間	横浜市金沢区釜谷町 ～横浜市戸塚区汲沢町
延長	約8.9km
設計速度	80km/時
標準幅員	29m
車線数	6車線

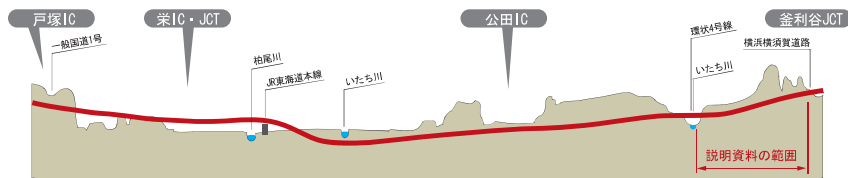
横浜環状南線は横浜横須賀道路の釜谷谷ジャンクションから一般国道1号の戸塚汲沢町(戸塚インターチェンジ)までの区間に計画されており、地形及び土地利用の状況を踏まえ、周辺環境にも配慮した結果、全体の約7割を地下式・掘割式の構造としています。あわせて都市計画道路上郷公田線などの関連する街路を整備することで、公田インターチェンジへも容易に接続できるようになります。

## ● 横浜環状南線の平面図



※横浜環状南線のJCT(ジャンクション)・IC(インターチェンジ)・換気所などの名称は仮称です。

## ● 横浜環状南線の縦断面図



※横浜環状南線のJCT(ジャンクション)・IC(インターチェンジ)などの名称は仮称です。



道路種類	供用区間	計画範囲
横浜環状南線	●●●●	■■■■
横浜環状道路	●●●●	■■■■
圏央道	■■■■	■■■■
高速自動車国道	■■■■	■■■■
首都高速道路・一般幹線道路	■■■■	■■■■
一般国道	■■■■	■■■■
主要地方道	■■■■	■■■■



# 2-1

## 道路構造の計画

神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近の道路構造は、トンネル出入口付近を除き、トンネル構造となります。

説明対象範囲(神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近)全体

- 横浜環状南線の神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近は、供用中の横浜横須賀道路と接続することから、横浜環状南線の本線とランプ(連絡道路)が併設される構造となります。
- 道路の構造は、トンネル出入口付近の土工部を除き、トンネル構造(地下構造)となります。



⑤

⑥

凡 例	
	道路構造物(橋、よう壁物)
	トンネル
	のり面
	緑地

※概略の平面図です。また用地取得範囲の詳細を示すものではありません。  
 ※橋りょうなどの名称は仮称です。

# 2-2

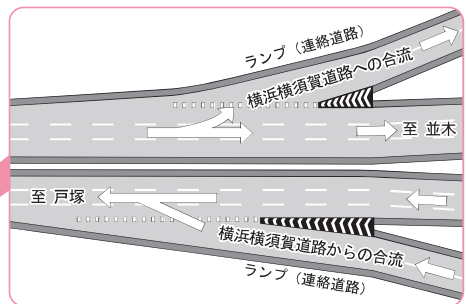
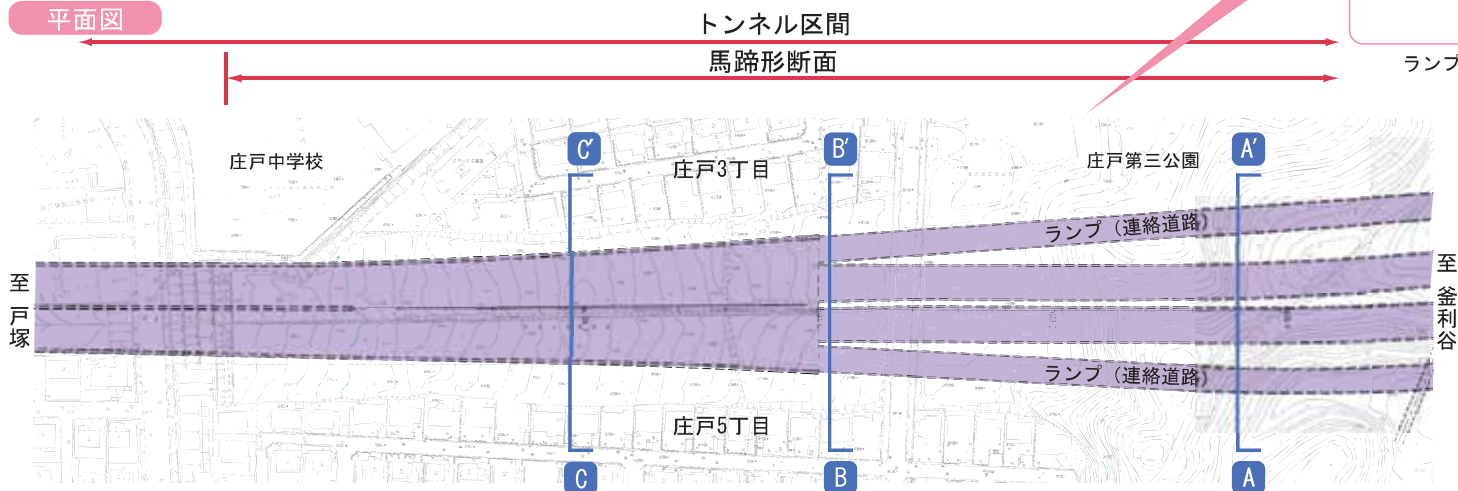
## 道路構造の計画

庄戸3・5丁目付近の道路構造は、馬蹄形断面のトンネル構造になります。

### 庄戸3・5丁目付近の道路構造

- トンネルの構造は、横浜環状南線の本線にランプ（連絡道路）が接続されるため、戸塚方面～釜利谷方面へ行くに従い、徐々にトンネルが広がる構造となります。
- トンネル区間は、馬蹄形断面となります。
- B断面付近から本線のトンネルが2本、ランプのトンネルが2本の、計4本のトンネル構造となります。

#### 平面図



ランプ（連絡道路）の概略イメージ図

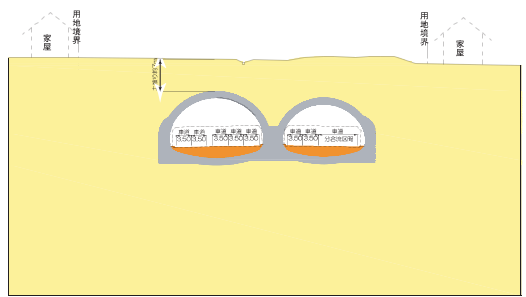


凡 例	
	トンネル

※概略の平面図・断面図です。また用地取得範囲の詳細を示すものではありません。

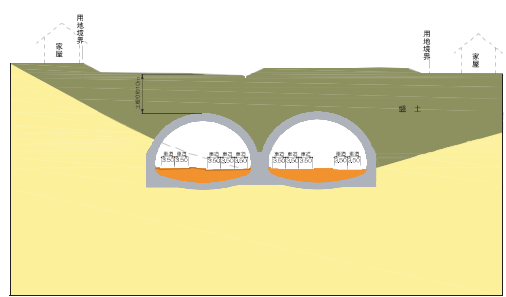
#### 断面図

C-C' トンネル区間（馬蹄形断面）

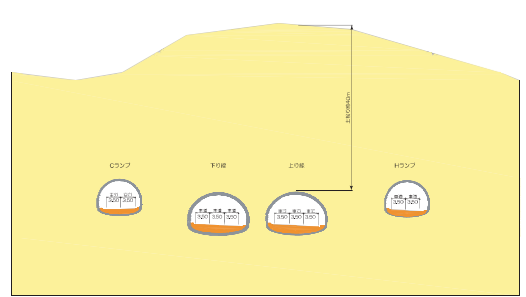


⑦

B-B' トンネル区間（馬蹄形断面）



A-A' トンネル区間（馬蹄形断面）



⑧

# 2-3

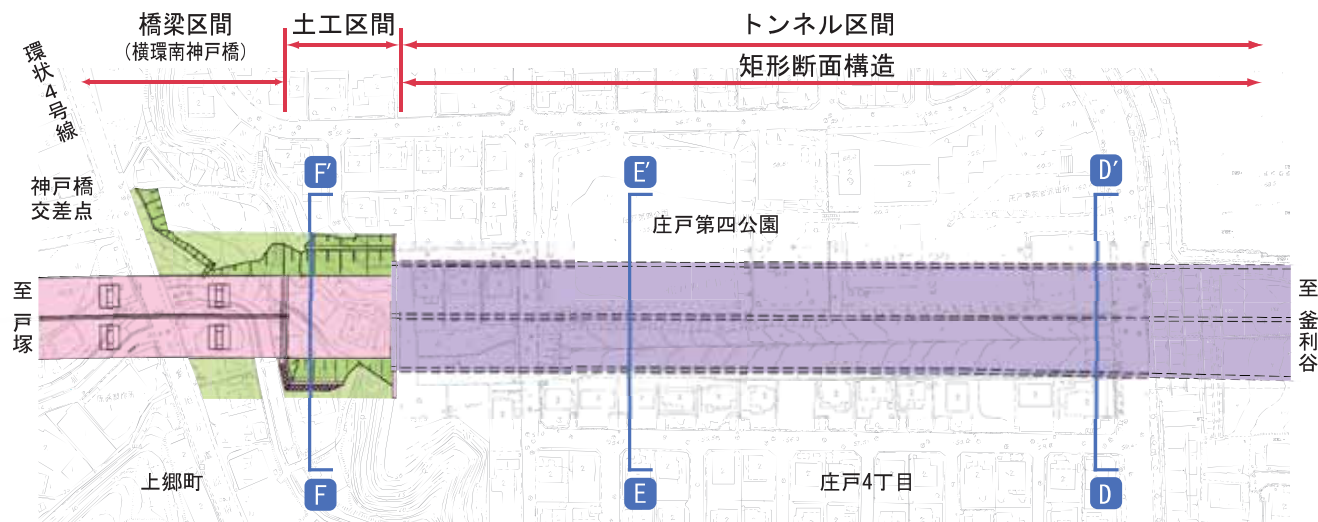
## 道路構造の計画

庄戸4丁目付近の道路構造は、神戸橋交差点付近を除き、  
矩形断面構造のトンネルになります。

### 庄戸4丁目付近の道路構造

- トンネル出入口付近の土工部は、環境施設帯が整備されます。
- トンネルの構造は、横浜環状南線（本線）とランプ（連絡道路）が接続されるため、戸塚方面～釜利谷方面へ行くに従い、徐々にトンネルが広がる構造となります。
- トンネル区間は矩形断面構造となります。

#### 平面図

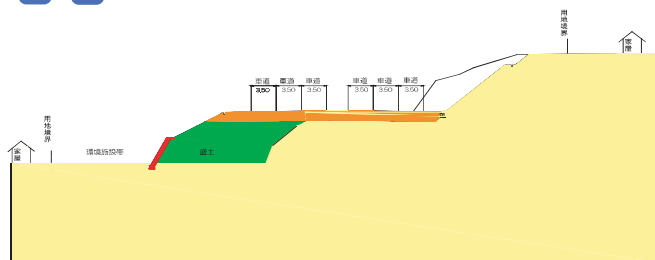


凡 例	
<span style="background-color: #f08080; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	道路構造物 (橋、よう壁他)
<span style="background-color: #9933cc; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	トンネル
<span style="background-color: #90ee90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	のり面
<span style="background-color: #90ee90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	緑地

※概略の平面図です。また用地取得範囲の詳細を示すものではありません。  
※橋梁などの名称は仮称です。

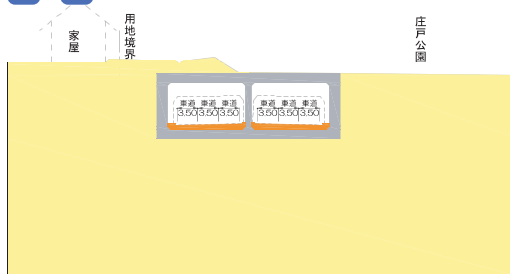
#### 断面図

F-F' 土工区間



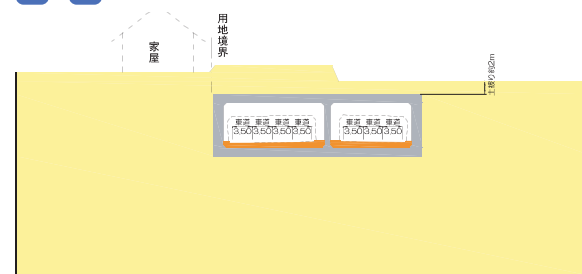
⑨

E-E' トンネル区間 (矩形断面構造)



⑩

D-D' トンネル区間 (矩形断面構造)





# 地形・地質

トンネル区間の地層は、ほとんどが  
硬い地山(上総層群)で構成されています。

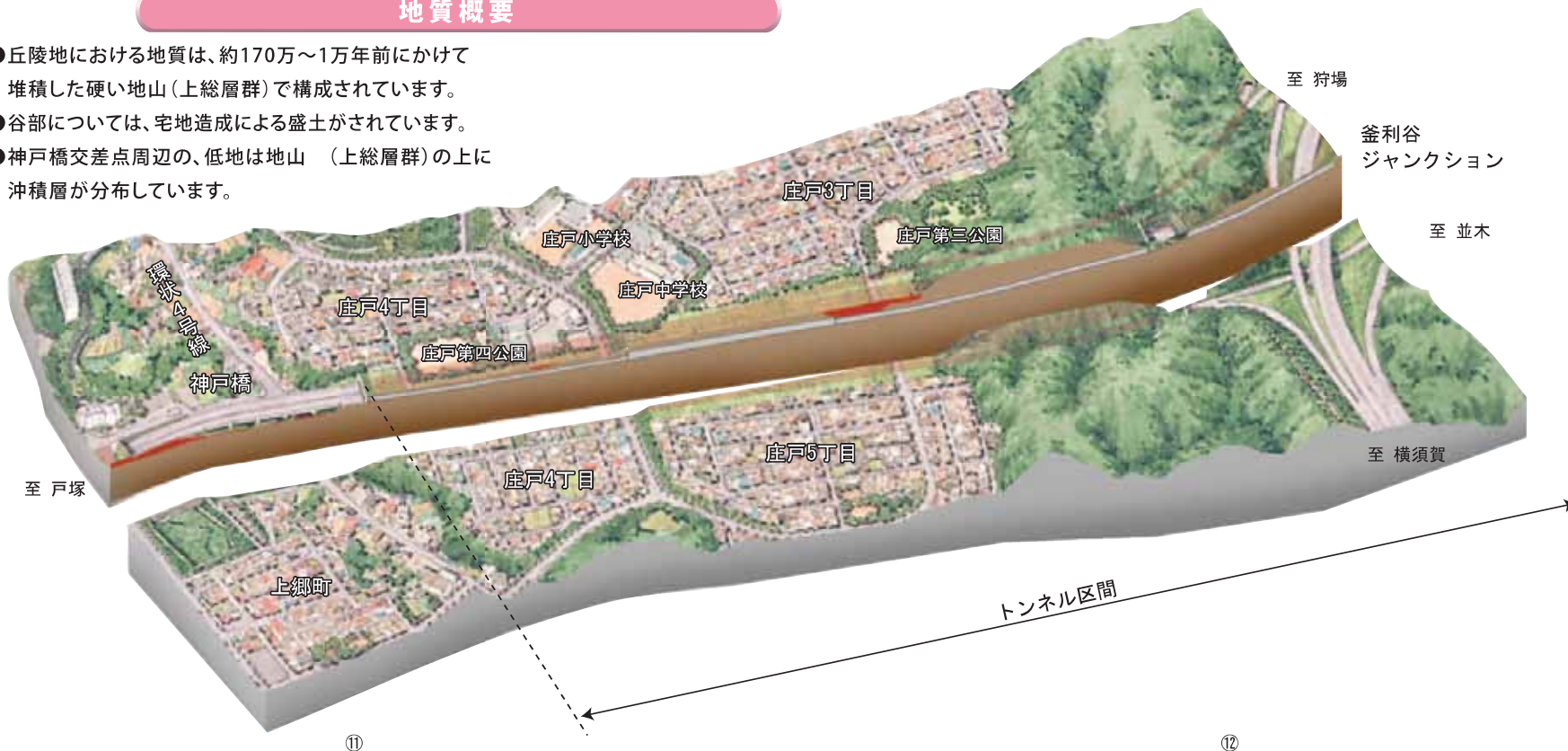
## 地形概要

- 当地域は、三浦半島から連なる尾根の北端部にあたり、 標高100m程度の山地が分布しています。
- 説明資料範囲の旧地形には、浸食により樹枝状の谷が形成された箇所がありましたが、現状では宅地造成されています。

地 質		当区間の特徴と道路構造との関係
	地 山 (上総層群)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当区間に分布する地山(上総層群)は、野島層(上総層群の最下部層)と呼ばれる軽石類を含む凝灰質な砂岩、砂岩・泥岩の互層、泥岩などからなり、硬い地層で構成された当区間の基盤層となっています。</li> <li>・トンネルのほとんどはこの地山を通過します。また、橋りょうの基礎はこの地山を支持地盤としています。</li> </ul>
	造成盛土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当区間のうち、宅地造成によって盛土された場所は、丘陵地の旧谷部及びいち川周辺低地に分布しています。その盛土材は、砂岩、泥岩などで構成されています。</li> <li>・庄戸第三公園付近でトンネルの一部が、この造成盛土箇所を通過します。</li> </ul>

## 地質概要

- 丘陵地における地質は、約170万～1万年前にかけて堆積した硬い地山(上総層群)で構成されています。
- 谷部については、宅地造成による盛土がされています。
- 神戸橋交差点周辺の、低地は地山(上総層群)の上に沖積層が分布しています。





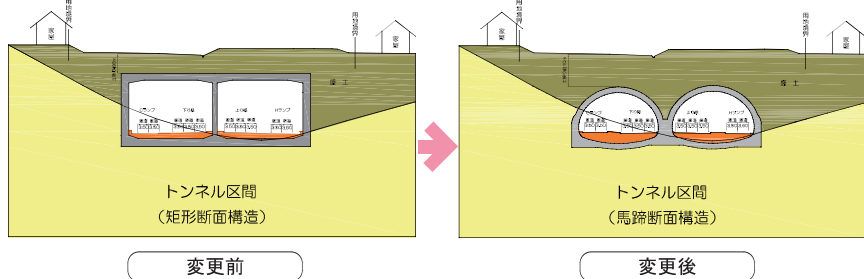
## 環境保全への取組み

周辺環境に与える影響をできるだけ少なくするため、今後も調査・検討を継続していきます。

### 神戸橋交差点付近～釜利谷ジャンクション付近の取組み

#### 一部トンネル区間で馬蹄断面の構造が可能になりました

- 庄戸中学校～庄戸第三公園付近は、土被りが浅く、断面が大きいことから矩形断面の構造で計画されていましたが、技術開発などの進歩や土質調査・測量等の結果、馬蹄形断面の構造が可能となりました。
- 今後は、周辺環境への影響を軽減する検討を進めていく予定です。



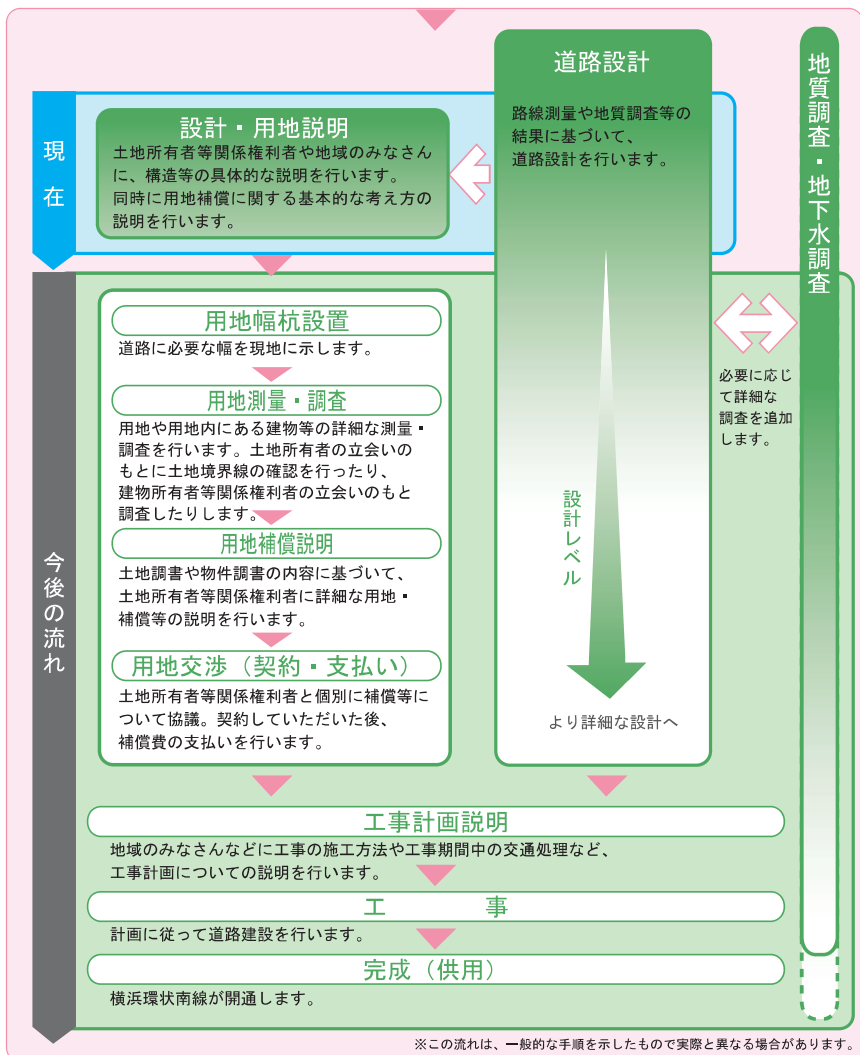
#### 自然環境保全を目的とした変更部分の面積の縮小化

- 専門家を交えた委員会での検討結果を踏まえ、「釜利谷地区自然環境保全・管理基本計画」に基づき自然環境に配慮した取り組みを実施していきます。
- 自然環境保全を目的として道路建設による緑地部の変更面積を少なくするように検討していきます。



# 今後の進め方

## 横浜環状南線ができるまでの流れ



地域のみなさまに情報の提供を行います。

### 相談窓口のご案内

栄区役所で毎月開催。ご予約やお申し込みは不要です。

本日の説明や横浜環状南線に対する疑問や不安などについては、「相談窓口や移動相談室」を設けていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。会場では、模型やパネルの展示なども行っております。7～9月は各 第2・第4木曜日に開催いたします。

※10月以降の開催日は決まり次第皆様にお知らせいたします。

7月の予定

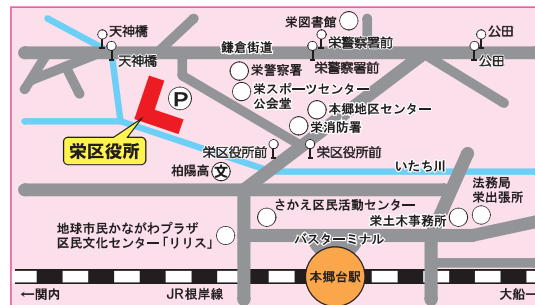
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	29	30				



【場所・時間】●栄区役所  
●午前10時～午後4時

※JR本郷台駅より徒歩10分  
※会場へお越しの際は、出来るだけ公共機関をご利用ください。  
※会場となる会議室は開催日より異なります。

### 移動相談室のご案内

もっとたくさんお話すために「よこかみなみ移動相談室」がお伺いします。

沿線と周辺地域の皆様のお申し込みにお応えして、地域の公民館や学校、職場などにスタッフが直接お伺いして行う「移動型」の相談室です。ご質問・ご意見をお伺いします。ぜひ、お気軽にお申し込みください。

※ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。  
※お申し込みお問い合わせいただいた方のプライバシーは厳守いたします。

### ＜お申込み方法＞

- ①参加人数、ご希望の日時・場所をお決めください。
- ②電話でお申し込みください。
- ③日時、場所、内容などの詳細を調整させていただきます。
- ④「よこかみなみ移動相談室」がお伺いします。

TEL：045-352-3771（代表）  
受付時間：月～金/10：00～17：00  
NEXCO東日本高速道路㈱ 横浜工務事務所 工務課  
「よこかみなみ移動相談室」係